

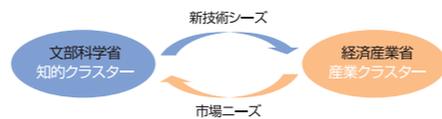
●知的クラスター創成事業

関係府省等との連携

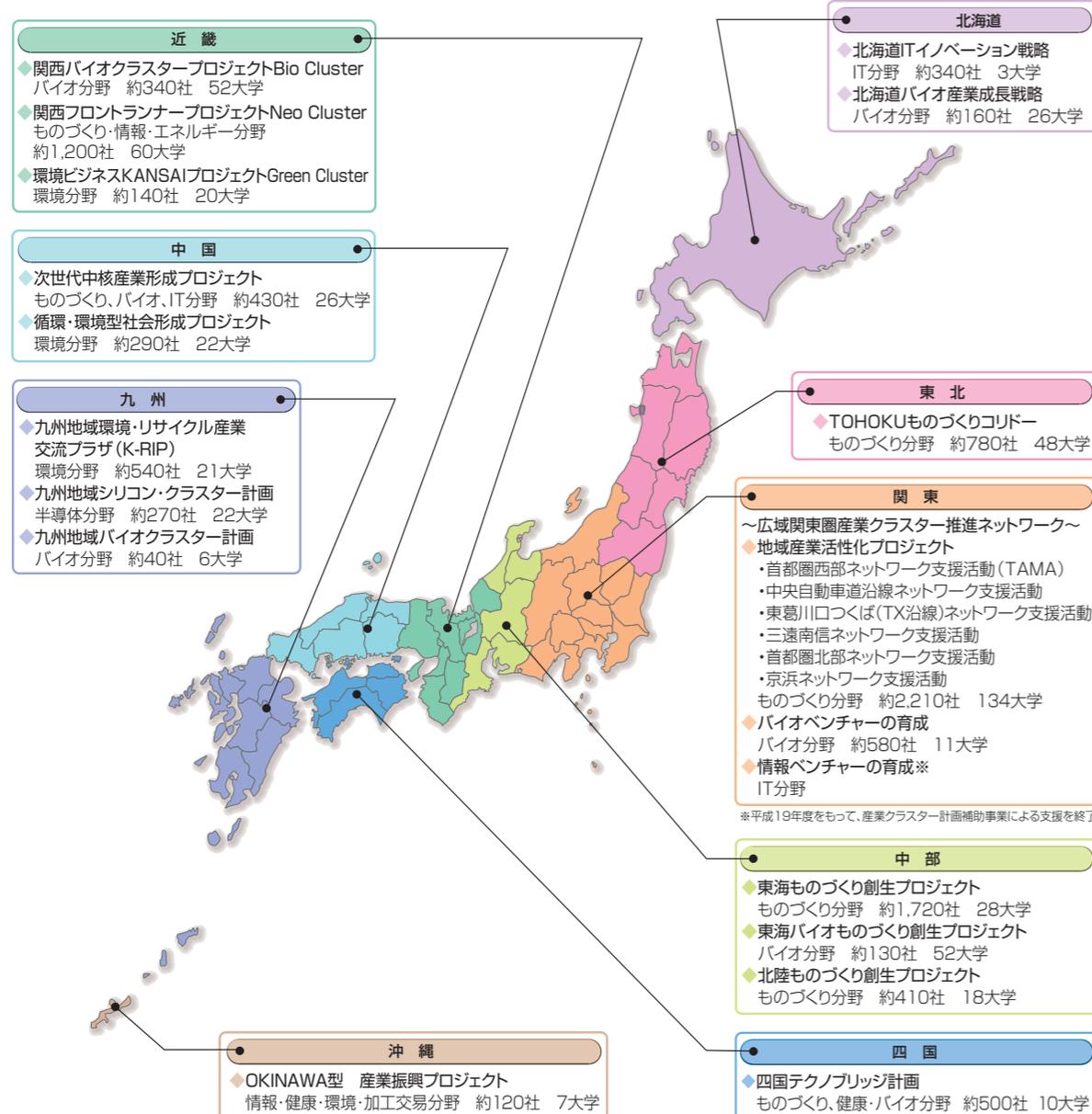
経済産業省（産業クラスター計画）との連携

文部科学省では、経済産業省が推進している「産業クラスター計画」等との連携をより一層進めており、平成20年度には、両省主催によるクラスター活動の成果を一堂に集めた「クラスタージャパン2008」を横浜で開催したほか、「地域クラスターセミナー」を地方で3回開催しました。

なお、文部科学省施策のシーズ創出に係る成果を、経済産業省施策により実用化・事業化し、逆に市場ニーズをフィードバックすることにより新たなシーズを研究・開発に繋げる等、両政策は相互に補完し、活用し合う関係にあります。



全国18の産業クラスター計画プロジェクトの地域展開状況（平成21年度）



平成21年度地域クラスター関連予算の概要

文部科学省	関連予算	経済産業省	関連予算
知的クラスター創成事業	89億円	産業クラスター計画 (第II期)	12億円
グローバル拠点育成型	12億円	地域イノベーション協創プログラム	34億円
第II期	75億円	戦略的技術支援事業	120億円
都市エリア産学官連携促進事業	45億円		

知的クラスター創成事業 89億円

- 地域のクラスター構想に基づく戦略的な事業実施
- 知の集積の活用: 大学、公的研究機関等を核としたイノベーションの創出
- 世界レベルの技術革新: 地域外からヒト・モノ・カネが集積

グローバル拠点育成型 12億円

- 技術的なコアを持つ地域がグローバルな展開を図るため、中規模のクラスター形成を支援

第II期 75億円

- これまでの成果を踏まえ、「選択と集中」の視点に立って世界レベルのクラスター形成を支援

都市エリア産学官連携促進事業 45億円

- 一般型 15億円
- 発展型 30億円

産業クラスター計画 (第II期) 12億円

- 中堅中小企業、ベンチャー企業等が大学、研究機関、大企業、金融機関、商社等との人的なネットワークを構築することによるイノベーションの創出
- 全国18プロジェクトで世界市場を目指すクラスター形成を支援
- 出口を意識した事業化支援の促進
- クラスター間の広域連携・国際連携の促進

地域イノベーション協創プログラム 34億円

- イノベーション創出基盤形成事業 13億円
- 大学発事業創出実用化研究開発事業 21億円

戦略的技術支援事業 120億円

クラスター間の連携・交流の促進

シーズ創出から実用化・事業化までの切れ目ない施策を実施

地域クラスター形成推進のための広報事業

●第8回産学官連携推進会議（平成21年6月20日～21日・国立京都国際会館）

オープンイノベーション型の産学官連携による新たな挑戦～環境・資源制約などの世界が直面する様々な制約への対応を成長の糧に～をメインテーマに産学官連携を担う第一線のリーダーや実務経験者等が一堂に会し、さまざまな事例の共有や課題の抽出、情報交換、対話・交流を通じて、産学官連携の新たな展開に向けた議論を深め、あるべき姿についての提言を取りまとめました。

また、産学官連携功労者表彰や各大学・研究機関・TLO・民間企業等による産学官連携の事例紹介、研究成果、試作品の展示、関係者間の情報交換、対話・交流が図られました。



産学官連携功労者表彰
内閣総理大臣賞等11賞(17事例43名)を選定



展示ブース
産学官の270機関が研究成果等の展示

●地域クラスターセミナー

平成17年度から地域におけるクラスター政策の普及・浸透を図り、地域のイニシアティブに基づくクラスター形成を推進するため、地域が目指すクラスター形成のための連携・交流の場を設置し、地域の産学官関係者が地域のクラスター形成のための戦略等を議論する「地域クラスターセミナー」を年3ヶ所ずつ実施しており、平成20年度は島根、福島及び愛媛の3ヶ所で実施しました。

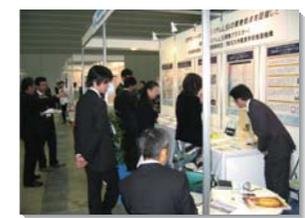


地域クラスターセミナー
(平成20年11月20日・ビッグパレットふくしま)

●クラスタージャパン2008

平成19年度から、日本最大のクラスター関連イベントとして「クラスタージャパン2007」を開催しており、平成20年度は平成19年度の事業を継続する形で「クラスタージャパン2008」を開催しました。

また、EUと共催で日本-EUクラスターフォーラムを開催しました。



クラスタージャパン2008テクノフェア
(平成20年12月2日～12月3日・パシフィコ横浜)

産学官連携拠点の形成支援

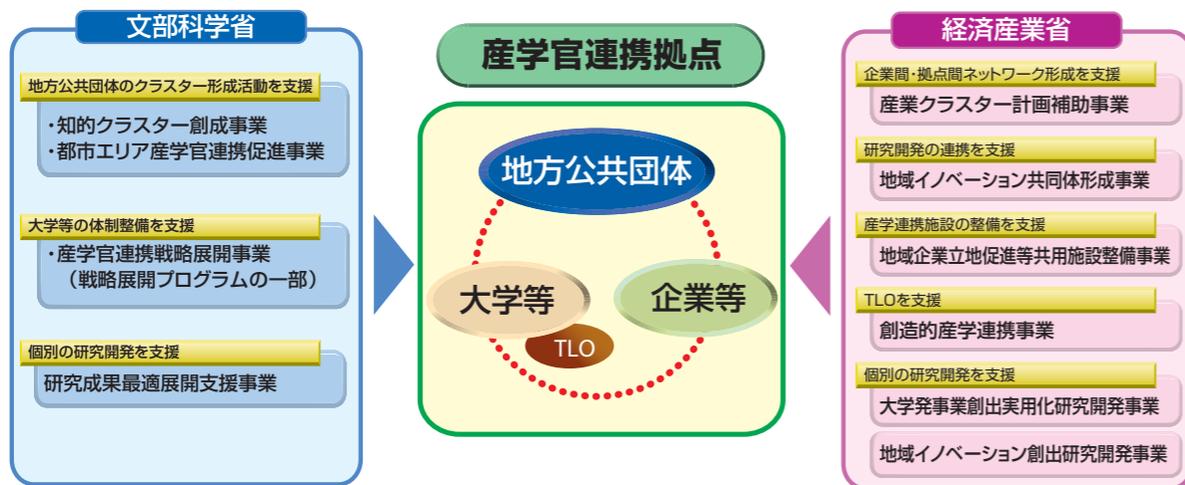
文部科学省、経済産業省では、両省が共同で次の2種類の産学官連携拠点を選定し、それらに関係府省、自治体等の各種の施策を有機的に組み合わせて総合的・集中的に実施することにより、人材育成・基礎研究から商業化・事業化までの活動を、産学官が有機的に連携して推進し、**持続的・発展的にイノベーションを創出するイノベーション・エコ・システムの構築を図ることとしております。**

「地域中核産学官連携拠点」

地域の特長や強みを活かし、地域産業の競争力強化や新産業創出による産業構造改革などを目指して産学官連携活動が行われる拠点。

「グローバル産学官連携拠点」

世界トップクラスの質と規模の研究者、研究インフラの集積等、国際的に優れた研究開発ポテンシャルを有し、地域の特長や強みを活かしつつ、多様な分野や融合領域において産学官連携活動が行われる拠点。



【平成21年度グローバル産学官連携拠点選定地域】

拠点名	提案自治体	提案大学等	提案企業等
北大リサーチ&ビジネスパーク	北海道、札幌市	北海道大学	北海道経済連合会
東海地域環境調和型高付加価値モノづくり拠点形成	愛知県、岐阜県、三重県、名古屋市	名古屋大学、名古屋工業大学、豊橋技術科学大学、岐阜大学、三重大学	名古屋商工会議所、社団法人中部経済連合会、社団法人岐阜県工業会
関西バイオメディカルクラスター	大阪府、兵庫県、神戸市、大阪市	大阪大学、大阪府立大学、大阪市立大学、神戸大学、兵庫県立大学	社団法人関西経済連合会、大阪商工会議所、大阪医薬品協会、神戸商工会議所
京都発未来創造型産業創成連携拠点	京都府、京都市	京都大学、同志社大学、京都工芸繊維大学	京都商工会議所
新成長産業クラスター連携融合拠点	福岡県、福岡市、北九州市	九州大学、九州工業大学、北九州市立大学、久留米大学、早稲田大学	福岡先端システムLSI開発拠点推進会議、福岡県バイオ産業拠点推進会議、福岡水素エネルギー戦略会議、北九州商工会議所、福岡商工会議所

●平成21年6月に「地域中核産学官連携拠点」に10地域、「グローバル産学官連携拠点」に5地域を選定しました。

研究成果の発展事例

■浜松地域（浜松オプトロニクスクラスター）

研究テーマ名:高機能内視鏡と手術ナビゲーションシステム開発

浜松地域は知的クラスター創成事業の研究テーマ「高機能内視鏡と手術ナビゲーションシステム開発」により基本技術を開発し、経済産業省の地域新生コンソーシアム研究開発事業（平成19年度実施）において、実用レベルの手術ナビゲーターを試作し、さらに経済産業省地域イノベーション創出研究開発事業（平成20年度実施）では、平成19年度事業の開発成果を活用して、患者が動いてもそれに追従する世界初の内視鏡手術ナビゲーターを開発しました。

知的クラスター創成事業で培った技術を経済産業省の事業で実用化につなげる試作機を作製し、先端医療開発特区に採択されるまで、成長しました。平成21年度から地域独自の取組として、商品化に向けた試作機の改良を進めています。

基本技術の開発

平成14年度～平成18年度

知的クラスター創成事業（第I期）により、浜松医科大学、静岡大学、パルステック工業(株)、(株)アメリオ等の共同研究を実施し、光学式形状計測技術を用いて顔面形状を短時間で求める格子投影式3次元計測スキャナと配置を工夫した複数のマーカ付副鼻腔手術器具を開発。手術前に撮影したCT画像からの頭頸部CTデータと術中の顔面形状計測データを位置合わせし、併せて術中の手術器具先端位置を計算することにより、CT画像の3断面内にその位置を2～3秒以内で自動表示する手術用ナビゲーションの基本原理を開発。



実用化に向けた試作機の作製

平成19年度～平成20年度

経済産業省の地域新生コンソーシアム研究開発事業を活用し浜松医科大学、パルステック工業(株)、(株)アメリオ、永島医科器械(株)等が共同で、知的クラスター創成事業での成果を踏まえ、製品化を見据えた試作機を開発。さらに、地域イノベーション創出研究開発事業により、患者が動いてもそれに追従する世界初の内視鏡ナビゲーターを開発。



商品化に向けた改良

平成21年度～

地域イノベーション創出研究開発事業終了後も地域独自の取組として、より安全な内視鏡手術を支援するために、これまでに開発した試作機を改良。より精度良く手術器具先端の位置を表示する手術ナビゲーターと内視鏡観察画面の位置を正確に表示する新規装置を開発中。

高機能内視鏡と手術ナビゲーションシステム開発による
安心・安全かつ迅速な医療行為の実現